

二拠点居住、多拠点居住に向けた、働く環境を整備した共同住宅整備

■ 事業概要

事業部門	部門3 ポストコロナ時代を見据えて顕在化した新たなニーズに対応した総合的・特徴的な取組を行う事業
事業地域	福島県須賀川市
背景・課題	須賀川での副業・兼業など、県外在住で須賀川に関心のある人材は多い。しかし、ホテル以外の滞在施設が少なく、低価格での滞在施設が不足しているため、長期での滞在に至れないケースが発生している。
目的	公営住宅の払い下げにより、役目を終えた施設を、二拠点居住、多拠点居住、お試し滞在などで利用していただける、須賀川に貢献したい人のための施設に改修をする。
連携する団体・役割	福島大学 経済学類 村上ゼミ ・ リノベーションに係る業務全般の事務、施工

■ 取組内容と成果

①旧母子支援施設リノベーション

- 役目を終えた公営住宅を入札し、次の世代に繋がるバシヨを目指し改修
- 須賀川に貢献したいと考える人に向けた、低価での滞在可能な施設へ改修
- 使用可能な箇所はそのまま活かし、滞在用の部屋を中心に部屋に改修
- 須賀川に貢献したい人向けに改修、作業の輪を地域で広げながら実施

②ボランティアの呼びかけ

- 高校・大学・社会福祉協議会など、呼びかけて作業
- 解体や基礎工事など、改修を協力

④メディアへの掲載

- プレスリリースを発信し、新聞等の報道で情報拡散
- ボランティアの参加やクラウドファンディングの支援者効果が得られた



旧母子支援施設外観



before



after



旧母子支援施設玄関



チラシ配布



プレスリリース

新聞掲載

③クラウドファンディング

- ボランティア参加者の経済的負担が発生しないために実施
- 作業に参加できない人にも輪を広げるために実施

クラウドファンディング目標達成



326,000円

みんなのイバシヨダテプロジェクト

【R4】 みんなのイバショダテ(株式会社テダソチマ)

■背景・目的と基本情報

●みんなのイバショダテプロジェクトとは

昭和47年に建設された、旧母子支援施設が役目を終え、当社が令和4年4月に入札により取得した。

躯体は丈夫で、まだまだ使用できる施設であり、次の世代の須賀川に貢献をしたいと想う人々のバショとして活用したいと思いプロジェクトを立ち上げました。



プロジェクトキービジュアル

●基本情報

所在地	福島県須賀川市南町169番地
敷地面積	1,092.82平方メートル
土地地目	宅地
用途地域	第一種住居地域
延床面積	732.24平方メートル
建物構造	コンクリートブロック造 2階建 2棟
建築年月	昭和47年3月

表1 旧母子生活支援施設の概要

●プロジェクトのポイント

須賀川に貢献したい人を受け入れ

地域の皆さんと施設の準備

次世代の須賀川に貢献とは

地域に新たな活力を生み出す原動力として、**県外人材の積極的な受け入れ**が必要だと考えています。しかし、ホテル等はありませんが、手軽に滞在できる施設が不足しています。

「須賀川で活動したい」「須賀川に貢献をしたい」と考える人に負担を与える環境になっています。

旧母子支援施設(共同住宅)を**二拠点生活、多拠点生活、お試し居住**のバショとして活用することで、「須賀川に貢献したい」と想う人の滞在拠点となります。また、**地域に住む方ともこのバショで活動を行い、みんなで次の世代の須賀川に貢献したい**と想っています。



写真1 改修前現況(外観)



写真2 改修前現況(室内)

【R4】 みんなのイバシヨダテ(株式会社テダソチマ)

概要検討

ボランティア募集計画



クラウドファンディング計画



ボランティアの
金銭的負担を
減らすために開
始

★学生発案

高校・大学などに IDY募集チラシ配布



- ・市内高校
- ・県内大学
- ・社会福祉協議会
- ・新聞記事掲載
- ・ポスター告知

解体完了



解体作業



ボランティアの受入れ



★主な作業

- ・畳の撤去
- ・建具の撤去
- ・キッチン解体
- ・床・壁解体
- ・不要什器解体
- ・コンロ撤去
- ・草刈り、など

床・壁基礎工事



★主な作業

- ・床材裁断
- ・壁面ボード裁断
- ・床材打ちつけ
- ・壁材打ちつけ
- ・木材研磨

カーペット・クロス貼り

家具の設置

照明等、備品設置

一期完成

※視察も多数有り

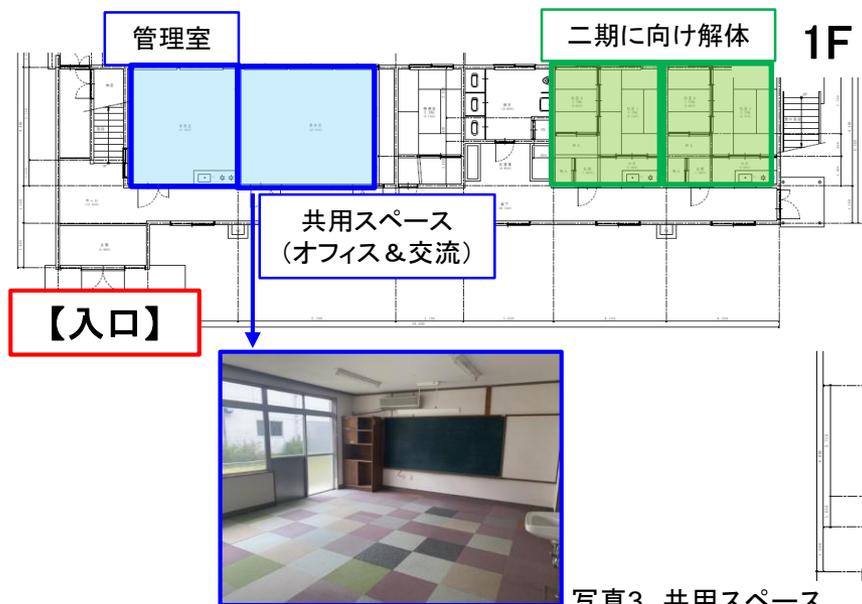
- ・福島大学生
- ・日本大学生
- ・宮城大学生
- など見学者も多数

2023年2月末に一期工事完成。
3部屋の工事が完了し、計10名が
滞在できるバシヨに生まれ変わりました。
より多くの方が、ニーズに合わせて滞
在できるバシヨにするため、これからも
DIYを継続していきます!

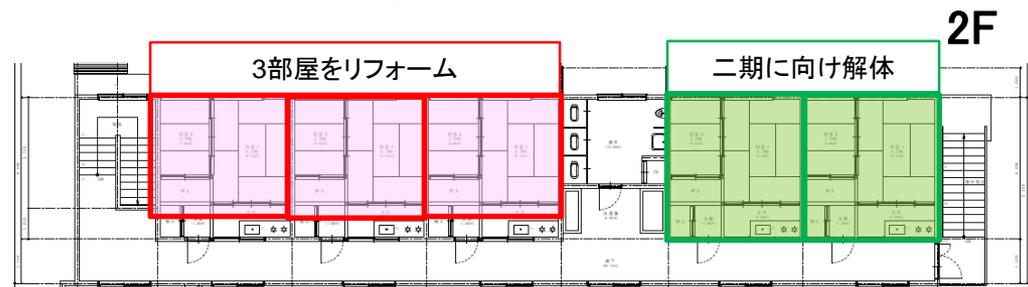
【R4】 みんなのイバシヨダテ(株式会社テダソチマ)

■ 取組内容と成果

① 改修作業



- ・1階
青色で囲った場所を清掃や磨き上げでメンテナンスで整備。
大きな工事は実施せず、磨き上げなどで作業や交流可能なバシヨへ整備。
- ・2階
赤で囲った場所を滞在できる場所に整備。4人部屋を2部屋、2人部屋を1部屋整備して、計10人が滞在できるバシヨにリノベーション。用途に応じた二拠点生活者の受入れ環境を整備
- ・緑ゾーン
二期作業に向け解体のみ実施。



★ 大学生スタッフやボランティアスタッフで作業



写真4 床板の撤去



写真5 内部床のビス打ち



写真6 石膏ボードの取り付け

【R4】 みんなのイバショダテ(株式会社テダソチマ)

②地域ボランティアのみなさんと一緒に作業

このプロジェクトを実現させるためには、準備段階からたくさんの人と協力してこの施設をつくり上げることが必要だと考え、ボランティアの方を募集し、一緒に作業をしました。福島大学、日本大学、地域の主婦やサラリーマンなど、多くの人に協力頂きました。



写真7 作業の様子



写真8 ボランティアとの懇親の様子



データ1 募集チラシ

③クラウドファンディングの実施

大学生スタッフの発案で交通費、作業着や道具の購入費など、DIYボランティア参加者の自己負担を減らすため、クラウドファンディングを開始しました。また、作業に参加できなくても企画に共感いただくこともテーマにしました。県外の支援者や新聞を見ての支援者など、広い皆さんに支援を頂きました。ボランティアが多く参加する日には協カスタッフが弁当を作る材料費に充て、交流のための資金として活用しています、



データ2 クラウドファンディングサイト



データ3 リターン(利用券)



データ4 リターン(招待券)

【R4】 みんなのイバシヨダテ(株式会社テダソチマ)

企画を進めた感想

- 令和3年度に空き家住宅を大学生目線で改修し、お試し居住にするプロジェクトを実施しました。その時のメンバーが2名残っていたため、必要な備品やDIYの基礎知識など、昨年度の経験を活かせる場面などがあり、大規模な建物であったが円滑に作業が進んだ。
- 今回は人と人とのつながりに焦点を当てたプロジェクト進行にしたため、ボランティア人材を巻き込むための、①管理方法や受付などのルール作り、②声をかけるためのリスト作成③学校や団体への声掛け④受け入れの体制づくり⑤クラウドファンディング等の更なるアクション。を実施しました。初めての経験も多く、苦戦した点もありましたが、多くの方に協力していただけて、進めるごとに輪が広がっていきました。
- 建物の面積が広い点や残置物が多く、床や壁の基礎打ちつけまでに時間を要し、苦戦しました。

成果物一覧

- DIY募集チラシ&パンフレット
- 施設紹介webサイト
- 施設紹介パンフレット
- リノベーション動画

データ差し込み予定

■今後の展開

2023年2月に第一期工事を完了し、滞在や交流が可能なバシヨに生まれ変わることができました。

- ・2023年3月16日(木):お披露目会(内覧会)&昼食会
※内覧会にてマスコミ報道予定。
- ・2023年4月以降:二期工事着工予定

■活用方法

現在、テダソチマに支援頂いている、首都圏人材が複数いますが、ホテルに宿泊頂いています。今後は滞在拠点は当施設を活用頂き、費用負担の軽減が長期滞在や須賀川の発展のための費用として活用頂けるよう取り組みます。

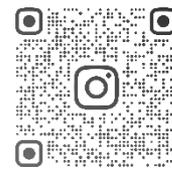
※令和3年度実施のお試し居住は、最大で月間6割の利用となりました。



(完成イメージ図)

データ5 完成イメージイラスト

みんなのイバシヨダテプロジェクトの今後の予定や進捗状況については、公式Instagramで随時更新していく予定です。詳細は下記QRコードまたは、URLをご確認ください。



PALETTE_TEDASOCHIMA